

函館市教育委員会研究モデル校

函館市立高丘小学校 学級数13 (校長 新山 亨)

【学校教育目標】 かしこく なかよく たくましく

【研究主題】 よりよく生きようとする子どもの育成
～道徳教育の充実に向けた小中連携の取組を通して～

【研究内容】

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
 - ・考えを深める教師の発問の工夫・評価の在り方
- 2 小中連携した道徳教育の推進
 - ・合同研修会の実施・地域公開および授業交流の実施（本年度中止）

【成果（○）と課題（▲）】

- 児童は、道徳を楽しむようになり、「好き・きれい」で考えるのではなく、自分の生き方を模索し、よりよい生活に向けて主体的に考えるよう成長した。
- 研究主題および研究内容については3年目ということもあり、どのように授業を進めるかではなく、どのように授業を展開して実りある時間にしていくかという点について、研究を深めることができた。
- ▲ コロナの影響で、研究仮説の「話し合い」が本来の活動とは違い、書いたものを交流する形になったことから、今後、新しい生活様式での活動について見直していく必要がある。

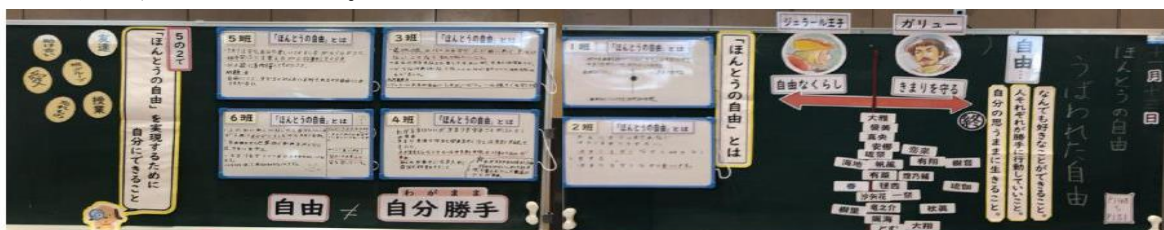
【実践例】

- ① 渡島管内研究指定校・函館市教育委員会研究モデル校公開研究大会で、本校・戸倉中学校・上湯川小学校の3会場にて授業公開を実施した。授業公開は、3校で内容項目を「A-1 善悪の判断、自律、自由と責任」で統一するとともに、授業の視点も揃え、本校は第5学年で実施した。



- 登場人物を整理し、「あなたの考えに近いのはどちらか、考えながら聞こう」と示し、教材文前半の範読を行い、黒板のグラフからどちらの立場に近いか自分の考えを確認した。
- 教材文後半の範読を行い、登場人物のその後を理解させ、主発問『『本当の自由』とはどういうことか』に対する考えをノートに書かせた。また、グループ内で交流したことをホワイトボードに書き、全体で共有させた。
- 「本当の自由を実現するためには」という発問に対する自分の考えを整理し、その後「心のもよう」を書かせた。書く時間を通して子どもたちに自身の考えを振り返らせた。

- ② 思考の流れがわかる板書の工夫をしたことにより、児童は自分の在り方について、考えを整理しながら実感することができた。



第5学年 道徳科学習指導案

日 時 令和2年11月13日(金) 第5校時
場 所 函館市立高丘小学校 体育館
児 童 函館市立高丘小学校5年2組 24名
指導者 遠藤英希

1 主題名 「ほんとうの自由」 【A-1 善悪の判断, 自律, 自由と責任】

2 教材名 「うばわれた自由」 『小学道徳 生きる力 5』(日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

個人の意思を最優先することが、集団生活や個人の日常を豊かにするとは限らない。集団で決められている規則よりも個人の意思を優先した場合には、周囲との信頼関係が悪化し、個人の生活に問題を引き起こす場合も十分に考えられる。反対に、自分のコストを払ってでも集団の為に行動を起こすことは、結果的に自分や周囲のよりよい生活へ還元されていくことが多い。集団の規則を遵守し個人の自由を守ることや、善悪判断をもとに自律的に行動することが求められている。

規則とは、各個人が集団生活を送るなかで、よりよい生活を実現していくために、個人の集まりを統治する役割で設けられている。規則を守ることで、各個人の生活が相互に保障されたり、互いを信頼して安心した生活を送ったりすることができる。また、規則の必要性に気が付くことや、規則が設けられている意味について考えることができると、自分の行動により責任をもつことができる。

本授業では、自由を求める登場人物の心情に理解を示しながらも、自由を実現するために必要な規則の存在に気が付くことで、自律的な(規則を守る)行動ができる判断力を身に付けさせたい。自律的な行動をとる根拠を築くために、自由とは何か対話活動を通して視野を広げ、自由を実現するために大切なことを考えるなど、自分の考えを深めたり、自分の弱さをみつめたりする活動を重視したい。

(2) 児童の実態について

(3) 教材について

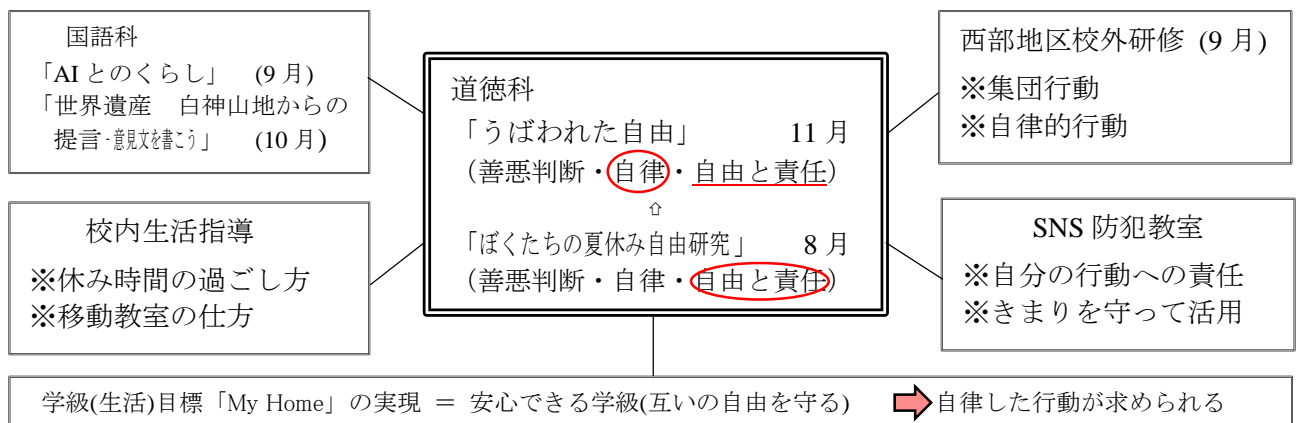
『生きる力』:日本文教出版株式会社 中に編成されている「うばわれた自由」【148~151p 参照】を主たる教材として取り扱う。集団社会において自由とは、自分のしたいことを自分勝手に行うことではなく、より円滑な集団生活を保障するために設けられたきまりの範囲内に限られている。

本題材は、きまりを守るべきだと主張するガリユーと、わがままな行動を自由な行動だと主張するジェラル王子が主要な登場人物である。物語のあらすじは「ガリユーからきまりを守るべきだと指摘されたジェラル王子が、自由を主張して自分勝手に行動し続けたために周囲の信頼を失った」という内容である。ジェラル王子の顛末から、きまりを守らない自分勝手な行動に正当性をもって疑わず、周囲の存在を顧みない行為は自身の不利益として返ってくる、という学びを率直に訴えかけてくる題材である。

学級の傾向として、多くの児童がきまりを守るべきだと主張するガリユーに共感することが予想されるが、一方で、自由を求めたいジェラル王子の心情に理解を示す児童も多数いることが予想される。ガリユー派には、休み時間や校内生活の場面を想起させ、自由を求める自分たちの姿を思い出させながら思考をゆさぶることで本音を引き出し、ジェラル王子派には、小さな約束事を大切にしてきた学級の様子を想起させて、きまりの重要性を訴えかけ思考をゆさぶる等、児童が題材に対しての考えを固定化し過ぎず、悩み葛藤し、主体性を引き起こす展開を設けたい。

最後に、本授業では、ガリユーとジェラル王子の考えを比較しながら、これまでの実生活と置き換えて考えることで、自由とは一体どのようなことなのかを深めていきたい。題材を通して、きまりの役割や周囲への関わり方にも目を向けながら、自分たちがより自由であるためにはきまりが必要であることや、自律的にきまりを守り行動することが周囲の信頼を獲得すること、信頼関係が成立していれば、きまりで互いを制限し過ぎずにより自由に安心して生活できるようになることを自覚させたい。

4 他の教育活動とのつながり



5 指導の工夫について

(1) 主体的な学びとなる工夫

事前に学級にアンケートをとって、自由についての児童の考えや価値観を把握しておく。また、ネームプレートを貼って自分の考えを明確にしたり、自分の考えを記述して記録することで、自分の心情変化に気付きやすくしたりする。

(2) 対話的な学習活動の工夫

自分の考えを明確にした後、グループに分かれて意見交流を行うことで、自分以外の考えに気が付いたり、自分の考えを深めたりすることができる。また、ネームプレートや自分の記述をもとに、自分の考えの変化に気が付きやすい展開を設ける。

(3) 発問の吟味

設定される内容項目に合わせて、題材の内容と自分の考えや行いに関する事が通じ合うように順序立てて発問を設定した。また、自分の考えや行いに関する発問、題材の内容に関する発問は、両方の性質をもつ発問、それぞれの性質をもつ発問の3種類に区別している。題材内容と自分事の距離感を意識していきたい。

6 本時について

(1) 本時のねらい

題材を通して、ほんとうの自由について自分の考えをもち、相互に自由で安心した生活を送るためには、自分で考えて行動する自律的な姿勢が必要であることに気が付くことができる。

(2) 本時の展開

過程	学習内容 (○), 主な発問 (●), 予想される反応 (・)	留意点 (・), 評価方法 (※)						
導入 (見通しをもつ)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に実施していた学級アンケートの結果から、「自由」の意味やイメージを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・なんでも好きなようにできること ・自分の好きなことを好きなだけできる ・何でもやっていいし、自分の思い通りにできる ・人それぞれ勝手に行動すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を主たる教材として扱いつつ、関心を高めるために、日常の学級内の場面を振り返りながら、話し合いテーマにせまっていく。 						
展開 前半 (考えを比べる)	<ul style="list-style-type: none"> ● ガリユールとジェラルール王子、あなたの考えに近いのはどちらですか。 ○ 物語の内容 (前半) を範読し、登場人物の情報を整理する。 ○ 題材を通して登場人物の考えを理解し、自分の行動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> 〔ガリユールの心情 (きまりを守る)〕 〔ジェラルール王子の心情 (自由なくらし)〕 ○ 自分の考え (心情, 理由) を簡単に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <table border="0" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">心 情</td> <td>理 由</td> </tr> <tr> <td>・ガリユール</td> <td>きまりは守らないといけないから。きまりがないと周りの人や、自分も困ることがあるから。</td> </tr> <tr> <td>・ジェラルール王子</td> <td>自分もジェラルール王子みたいに行動することがあって、自由にしたい気持ちも分かるから。</td> </tr> </table> ○ 物語の内容 (後半) を読み、登場人物のその後のようすを理解する。 ● 「ほんとうの自由」とは、どういうことですか。 ○ 6つのグループに分かれて、意見交流を行う。 4人1グループ (司会, 記録1人ずつ) で意見交流する。 〔お互いの立場や意見を尊重し合いながら、自分の考えを明確にしていく。(司会が交流内容を発表する。)] ○ 登場人物の心情理解に程度 (⇔) を設けて、自分の考えの変化によって、ネームプレートを自由に移動させる。 	心 情	理 由	・ガリユール	きまりは守らないといけないから。きまりがないと周りの人や、自分も困ることがあるから。	・ジェラルール王子	自分もジェラルール王子みたいに行動することがあって、自由にしたい気持ちも分かるから。	<ul style="list-style-type: none"> ・発問を先に伝え、題材を読みながら考えられるようにする。 ※題材に対して、自分なりの考えをもつことができているか。(ネームプレート) ※自分の考えに理由をもつことができる。(道徳ノート 上段) ※自分の考えをもつことができたり、友達の考えを聞くことができたりする。(道徳ノート 下段) ※題材を通して、自分の考えの変化や、深まりに気が付くことができているか。(ネームプレート)
心 情	理 由							
・ガリユール	きまりは守らないといけないから。きまりがないと周りの人や、自分も困ることがあるから。							
・ジェラルール王子	自分もジェラルール王子みたいに行動することがあって、自由にしたい気持ちも分かるから。							
展開 後半 (考えを深める)	<ul style="list-style-type: none"> ● 5の2で「ほんとうの自由」を実現させるためにはどんなことを大切にして生活すればよいですか。自分のできることを考えましょう。 ○ 自分たちの生活を振り返って、これからできそうな自分の身近な行動を考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> 〔自分たちできまりを守って生活すること〕 〔学校のルールを守って、楽しく遊ぶこと〕 〔五分休みに次の授業準備をしておくこと〕 〔列におくれないで並ぶようにすること〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返って、自律的に行動できる場所がないか見直させる。 ・考えるきっかけとしてイラストを見せる。 ※題材から自分の生活の様子を振り返ったり、よりよくするためにどうすればよいかを考えたりすることができる。(道徳ノート 下段) 						

終末 (振り返り)	<ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい自由を求めるためにはきまりが必要だが、きまりを守ろうと自分から行動することで、「ほんとうの自由」が実現していくことに気が付かせる。 ○ 係当番活動や学級の休み時間、函館西部地区校外研修、学芸会の出来事を振り返って、自分たちがより自由であるためには、自律的な行動が求められることを再確認する。 ○ 学級生活目標「My Home」を確認して、一行日記を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由とは、自分勝手にふるまうことではない」「より自由であるために、きまりを守ることが必要」 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自ら考え行動すること」が自由の獲得につながることに気付かせる。 <p>※本時の活動を振り返って、自分の考えや感想をもつことができる。 (ポートフォリオへの記述)</p>
--------------	---	---

(3) 板書計画

学級生活目標

My Home

校外研修	学芸会
休み時間	当番活動

自由

自分たちで
考えて行動する


5の2で

「ほんとうの自由」を実現するために
自分にできることを考えよう。

4班	1班
5班	2班
6班	3班


自由 ≠ 自分勝手
(わがまま)

ジェラル王子



自由にくらしたい

ガリユー



きまりは守るべき

うばわれた自由

自由

とは・なんでも好きなことをできること
・自分の好きなことをすきなだけできること
・人それぞれ勝手に行動すること

ネームプレート
を貼る